

# 「検証：原子力規制 委員会の5年半」

4月22(日) 2時開始 1時45分開場

万世橋区民会館 6階洋室

(「国連・憲法問題研究会」で表記されています)

発言

新藤宗幸さん (千葉大学名誉教授)

山崎久隆さん (たんぽぽ舎)

資料代  
500円

「専門家の集まりである、中立の規制委員会の安全チェックが終了しているのだから、再稼働してもなんら問題はありませ

ん」。こういう言葉が、原発再稼働へ向かう現地の役人、電力会社の人々から、口にされ続けている。「規制委」の認可は、本人たちの「基準をパスしているか否かをチェックしているだけ。絶対安全とはいいません」の主張とは裏腹に、新しい〈安全神話〉として機能している。それは、安倍首相らの「世界最高水準の安全基準だ」という明白な嘘のくりかえしの効果も手伝っているだろう。

そして、その「規制委」のチェックを経た原発再稼働への動きは、大きな反対の声を押し潰して、今やラッシュというべき状態を現出している。再稼働促進へ向けて、検査と規制を分離する組織再編を完了した「規制委」は、〈原子カムラ〉の代表的人物であった田中俊一委員長時代を終わった。

2012年9月に発表した「規制委」のいう「安全」の内実を、この約5年半の活動を批判的に検証し問いかえす。そして、「規制委」はどこへ向かっているのかをリアルに問いただしたい。

問題提起者は、『原子力規制委員会—独立・中立という幻想』(岩波新書)を刊行したばかりの、行政学者の新藤宗幸さんと、「規制委」の活動に注目し続け、反原発運動の中で積極的に批判し続けてきた、「たんぽぽ舎」の山崎久隆さんである。

積極的な参加を!



JR秋葉原駅電気街口から徒歩3分  
都営新宿線小川町駅、丸ノ内線淡路町駅から徒歩7分  
東京メトロ銀座線神田須田町口から徒歩5分

【主催・問合せ先】福島原発事故緊急会議

東京都文京区関口1-44-3 信生堂ビル2F ピープルズ・プラン研究所気付  
Tel:090-1705-1297(国富) fax: 03-6424-5749

e-mail 2011shinsai.office@gmail.com http://2011shinsai.net

郵便振替口座 00110-3-433390 「福島原発事故緊急会議(淡路町事務所)」

賛同、カンパ  
大歓迎!